

JAMCA ジヤムカ ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.32

2002年1月1日

発行

協会事務局

編集事務局

全国自動車整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町31

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

「やる気」ある若人の育成を

埼玉工業専門学校校長
全国自動車整備専門学校協会理事

佐藤 孝司



最近フリーターという言葉が一般化してきました。ひと昔前は、俗に「ブータロー」といわれ、いわゆる無職の者のことでした。しかし、最近ではテレビなどでも一般化され、あたり前の一種の職業になりつつあります。

全国の自動車整備士養成専門学校でも、そのような問題があるのではないかと思います。専門学校生としての意義は、その業界における正しい知識や技術を身につけ、社会に貢献していく人材となることではないでしょうか。

責任感や義務感も

二・三級整備士という資格を取得しながらも、就職をせず、他の職業を目指している諸君には、「自動車業界の素晴らしさ」、「手に汗して働くことの素晴らしさ」を教えてゆくべきではないでしょうか。「資格さえ取っていればつぶしがきく」といった学生が増えているのが現状だと思います。

一級整備士の資格取得に関する法令が問題となっていますが、ただ「資格」を取りさえすれば良いということではなく、「資格」を持っている者としての「責任感」・「義務感」、そして何よ

りも「自分からのやる気」を持つ学生を育てることが大切だと思います。

自動車業界においては、まず第一にユーザーの方々の「安全性」を考えなくてはなりませんし、そのことに対して「やる気」のない学生を育てて行くようなことがあっては、世間からの信頼を失い、さらに一層厳しい状況となるでしょう。

やはり現在のような時代においては「資格」のみではなく、「やる気」・「誠実性」・「この業界で生きてゆく」という姿勢を学生諸君に持たせることが、やがて業界への「信頼」となっていくのではないかと考えます。

整備士養成学校の責務

現在の日本の経済状況は、バブル経

済の崩壊以降、厳しい状況にあり、自動車業界においても同様です。このような状況においてこそ、「責任感」と「誠実さ」を持った若人を業界に送り出していくことが、われわれ自動車整備士養成学校の責務ではないでしょうか。

このような厳しい社会情勢にある今こそ、学生に「希望」・「働くことの素晴らしさ」を伝えていけるような教育が必要なのではないかと思います。

私どもの学園は自動車整備の専門学校のみではなく、高校・中学校なども設置しています。教育界の現状を考えますと、今後の自動車整備士養成と、自動車整備士養成学校が技術のみでなく、「意志」をしっかりと持った学生を教育していくことを期待しています。

皆様のご参考にはなりませんでしょうが、私の一考察とさせていただきます。

■ CONTENTS ■

- 2面 OPINION
- 3面 我が校自慢
- 4・5面 新春座談会 一級整備士の将来像
- 6面 協会トピックス
- 7面 活躍卒業生・地区通信
- 8面 私の教材活用・編集後記